

女性教師関連 近代史年表

年月	内容	出典	備考
明治6年(1873)1月22日	太政官布告にて尼僧の蓄髪・肉食・婚姻・還俗の自由を達する		
大正8年(1919)4月	深見耀宏、京都松ヶ崎涌泉寺尼衆修道院(後の尼衆宗学林)を創設。	宗報 喜多村略伝	涌泉寺は松葉ヶ谷檀林であった本涌寺(本涌寺と妙泉寺が合併して現在の涌泉寺)跡地に位置する。
昭和12年(1937)8月1日	信行道場が初めて開設される。	日蓮宗事典	
昭和14年(1939)11月中旬	信行道場の開設以来初めて、尼僧信行道場(道場生17名)が身延山にて開設される。	日蓮主義	
昭和17年(1942)1月	宗会にて祖山学院を身延山専門学校と改め、教師養成機関として日蓮宗立の池上宗学林・光山学院・尼衆学林を設立。	宗報	
昭和20年(1945)8月15日	第二次世界大戦終結。		
昭和22年(1947)9月19日	普通試験合格尼僧の第9期信行道場、身延山にて開設される(～23日)	『真尼道』	書記は梶山智孝法尼、同師が楯を飛ばし「尼僧連盟」の名の下に全員血判で団結を誓う。
昭和25年(1950)	寺族救済を目的とした補教制度が創設される。		有髪の尼僧(寺庭婦人)を養成する補教講習
昭和25年(1950)6月	東京都北部に寺庭婦人会が組織される。	宗報	
昭和26年(1951)中	曹洞宗尼僧団結推進に刺激を受けた、梶山智孝・谷山善妙両師が全国の尼僧と連絡を取り尼僧法団結成の準備に取りかかると共に、身延山より丈六堂と無縁墓地給仕を委託される。	『真尼道』	
昭和26年(1951)5月15日	東京全管区の寺庭婦人を対象とした「東京日蓮宗寺庭婦人会」が谷中一乗寺において結成される。	宗報29・30号	会長:肉倉照子氏 副会長:長谷川環氏
昭和26年(1951)5月27日	補教講習会、身延山にて開設される。	宗報	
昭和26年(1951)8月21日～	補教講習会(有髪の尼僧)身延山信行道場にて一週間の予定で開催される。入場者56名	宗報32号(昭和27年1月)	「補教講習会の記」 「補教講習会に奉仕して」尼僧伊藤本明(助員)
昭和26年(1951)10月6・7日	全国布教師会長会議にて身延山法主の経験談中「真宗には坊守会というのが出来て居るそうです。つまり寺庭婦人会でありまして、よく訓練が出来て居りまして、住職はお経を読む、妻は掃除を受持つという風にして法城の護持につとめて居ります。」と語る。	宗報32号(昭和27年1月)	
昭和26年(1951)10月29日	全国より各宗の尼僧300名が宗旨宗派を越えて参加し、世界永世平和記念万国殉難精霊追悼法要を日比谷公会堂で挙行。全日本仏教尼僧法団が結成される。	全日本仏教尼僧法団HP	http://jibo.jpn.org/index.html
昭和27年(1952年)7月29日	日蓮宗尼僧法団の結成準備会を東京谷中瑞輪寺にて開く。	宗報37号(昭和27年10月)	
昭和27年(1952年)9月25日	東京日蓮宗寺庭婦人会代表として、副会長長谷川環氏が、婦人協議会からの推薦を経て、築地本願寺で開催された「世界仏教徒会議」に出席する。(～30日)	宗報37号(昭和27年10月)	
昭和27年(1952)10月28日	梶山智孝師、谷川善妙師ら有志尼僧が中心となって日蓮宗尼僧法団の結成式(結団式)を身延山久遠寺にてあげる。	みのぶ 『真尼道』	「ここまで来る事が出来たのは、尼僧自身の努力もさる事ながら身延山深見日円法主猊下、日蓮宗管長増田日遠猊下の大きな御庇護(中略)も忘れてはなるまい」(『真尼道』)
昭和28年(1953)9月28日～	「補教講習の感想」受講生 佐々木教光・樺山妙舜	宗報45号(昭和29年3月)	
昭和30年(1955)	僧階上の「補教」の取扱いが廃止された(補教信行道場は継続)。	宗務院資料	

年月	内容	出典	備考
昭和31(1956)10月11日	日蓮宗尼僧法団全国組織結成奉告式が増田日遠管長導師の下、身延山本師堂にて執り行われる。	日蓮宗新聞(1956/11/20)	
昭和37年(1962)3月7日	尼僧法団関東支部、日蓮宗尼衆学林復興托鉢を東京新宿駅にて行う。	日蓮宗新聞	
昭和44年(1969)	梶山順弘師、尼僧初の開教師(国際布教師)となり、ヒロ教会に赴任する。	『真尼道』	
昭和44年(1969)12月7日	大内妙信師、女性としては初の宗会議員に選出される(以降二期継続～昭和52年12月6日)。	日蓮門下伝家人名辞典	
昭和47年(1972)6月18日	日蓮宗尼僧法団、尼衆寮を身延山丈六堂に完成し、落慶入式並びに日蓮宗尼僧法団創立満20周年祝賀会を開く。	日蓮宗新聞	
昭和49年(1974)3月5日	日蓮宗と中山妙宗の合同復帰にともなう350名の教師認証式が中山法華経寺にてあげられる	日蓮宗新聞	
昭和50年(1975)5月28日	日蓮宗尼衆宗学林、京都市松ヶ崎涌泉寺に再興され、30年ぶりに開校式をあげる。	日蓮宗新聞	
昭和51年(1976)3月	第35宗会にて、特別信行道場入場費が修正可決される。これより、尼僧信行道場は特別信行道場と改称される。以降、補教信行道場と隔年開設となる。	宗報	
昭和53年(1978)5月27日	特別信行道場が開設される。	宗報	
昭和57年(1982)10月	日蓮宗尼僧法団結成三十周年、記念写真集『真尼道』発刊。		
平成11年(1999)6月23日	男女共同参画社会基本法が施行される。		
平成14年(2002)	補教信行道場が平成13年度開催を最後として廃止される。	宗報	
平成14年(2002)10月	現代宗教研究所にて女性教師アンケートが実施される	アンケート報告書	
平成16年(2004)3月31日	日蓮宗全女性教師アンケート報告書(現代宗教研究所)が発行される。	アンケート報告書	
平成17年(2005)4月26日	全国日蓮宗女性教師の会、宗務院で代表者会議を開き、発足。	日蓮宗新聞	
平成21年(2009)7月24日	最上稲荷教が日蓮宗に復帰し、日蓮宗所属辞令交付式が宗務院で行われる。総本山妙教寺と7つの被包括法人及び58人の僧侶が日蓮宗の所属となる。	日蓮宗新聞	
平成23年(2011)	特別信行道場が第二期信行道場に改称される。	宗報	
平成25年(2013)12月7日	松野蓮香師が大内妙信師に続き36年ぶりに女性としては2人目の宗会議員に選出される(以降二期継続～令和3年12月6日)。	宗務院資料	
平成31年(2019)1月29日	田邊木蓮師が参与推薦(什師会)にて、女性として3人目の宗会議員に選出される。(現在〈二期目〉に至る)	宗務院資料	
平成31年(2019)5月28日	日蓮宗尼衆宗学林開校100周年記念法要が執り行われる	日蓮宗新聞	
令和2年(2020)3月25日	身延山在院生女子寮「なんてん寮」開寮式が執り行われました。	みのぶ	
令和2年(2020)10月2日	身延山第1期女子僧道実習生入場式が執り行われました。	みのぶ	